思いがけずシステム担当者になってしまったら OPACをDIYで充実させる

野田市立興風図書館システム担当:川嶋 斉

1

公共図書館の事例紹介ということで

まずは野田市について

千葉県の西北端 人口:約15万7千人



東武野田線&つくばエクスプレス or 常磐線で 1時間弱で都内なので、通勤圏

野田市立図書館について

市内4館

- ・中央館のみ直営
- •分館は指定管理者

蔵書数:約613千冊

貸出点数:約1093千点

予約点数:約160千点

(うちWeb予約:約107千点)

Web予約は、貸出全体の1割、予約の7割弱



3

自己紹介

- ▶ 1998年から野田市立図書館に勤務
- いきなりシステム担当になる
- ▶ 同時にシステムの入れ替えでWindows導入

指定管理者の導入 (業務分担の切り分け) ー わかる人が いない

祝日開館&休館日をずらす (本館は月曜・分館は火曜) つまりシステムはずっと稼働

「初級アドミニストレータ」を取得(現ITパスポート)

「情報セキュリティアドミニストレータ」を取得 (今は…一応「情報セキュリティスペシャリスト試験」に統合)

情報技術者試験の利点

- システムに対して系統だった知識が得られる。
- 一般的なシステムとして図書館システムを考えられる
- ▶専門用語や概念がわかる

一応、新しくシステムを担当になってもらった人には「『ITパスポート』は取ってね。」 とは言う。(立場的に強制力はない)

どんなことが身につくのか…

5

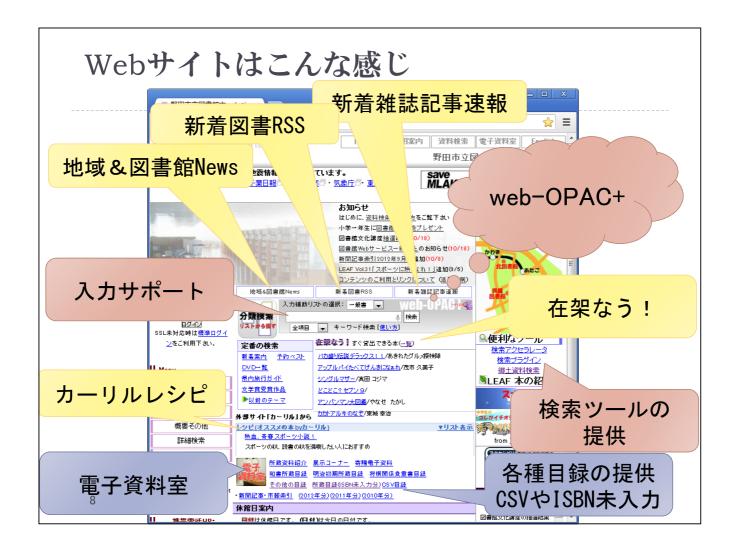
例えばC.I.A (情報セキュリティの3大要素)

- 機密性(Confidentiality)情報がルール通り保護されていること アクセス権限、パスワードの設定
- 完全性(Integrity)情報に間違いがないことアラート(警告)の表示、ダブルチェック
- 可用性(Availability)必要な時に情報を使えることシステムの二重化、バックアップの保持

現在の野田市立図書館の Webサービスで考えていること

- ▶ 守る事は通常システムと同じ 機密性・完全性・可用性 とか…
- サービスとしてめざすもの
 - ▶検索サイトから蔵書が検索できる
 - ▶ 使いやすいWeb-OPAC
 - ▶ なんとなく見たくなるサイト

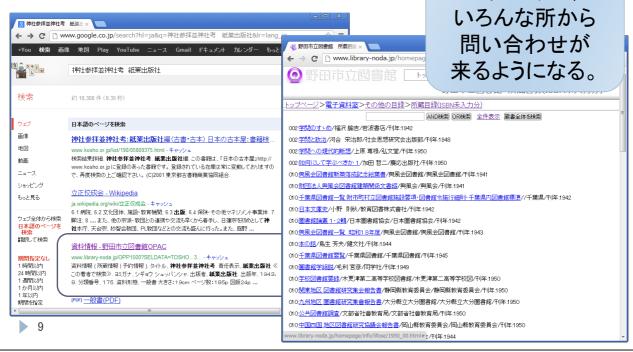
7



検索サイトから蔵書が検索できる

「所蔵目録(ISBN未入力分)」

▶ Googleなどで蔵書がヒットする



使いやすいWeb-OPAC

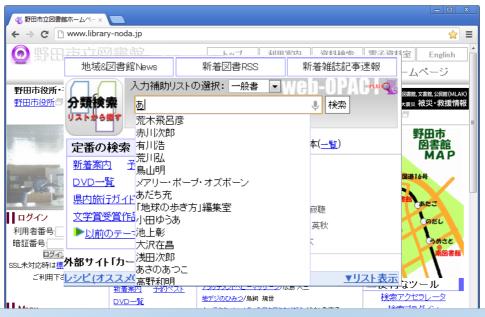
何が使いづらい?

- 厳密なキーワードでないとヒットしない
- 書誌情報だけでは本をイメージしにくい
- 所蔵資料しか検索できない
- ▶ 図書館にどんな資料があるか分からない

とりあえず 自分で 作ってみる

これだけで、

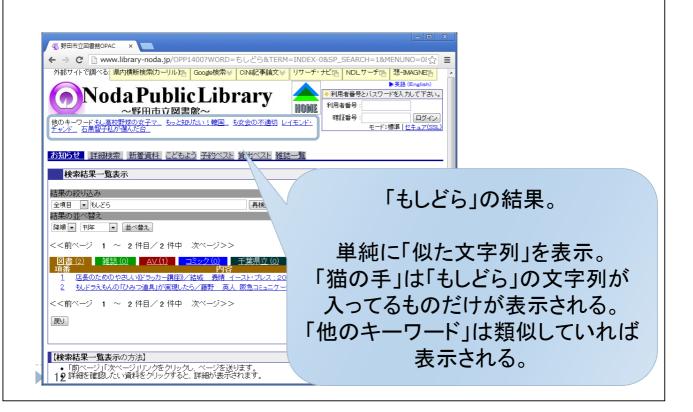
厳密なキーワードでないとヒットしない 対策:入力サポート「猫の手」



- 文字を入力すると検索語候補が表示
- 検索語は過去のWeb予約統計から作成

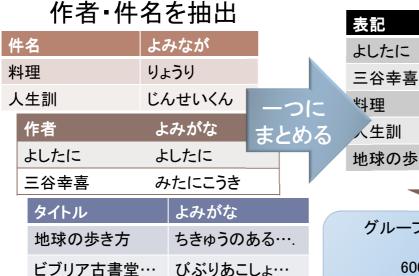
厳密なキーワードでないとヒットしない

対策:「他のキーワード」



「猫の手」「他のキーワード」で使っているもの 「サジェストリスト」

▶ 過去1年のWeb予約上位(7000程度)のタイトル・



表記よみがなよしたによしたに三谷幸喜みたにこうき料理りょうり上のせいくんじんせいくん地球の歩き方ちきゅうのある…

グループ化(重複を省く)すると、 12000件程度。 600KBのCSVファイル

http://www.library-noda.jp/ homepage/info/suggest/suggestlist.csv

13

書誌情報だけではよく分からない

対策: 「web-OPAC+」



「カーリル」と「WebcatPlus」



Amazonのレビューが見られる Web-OPACにリンクしている

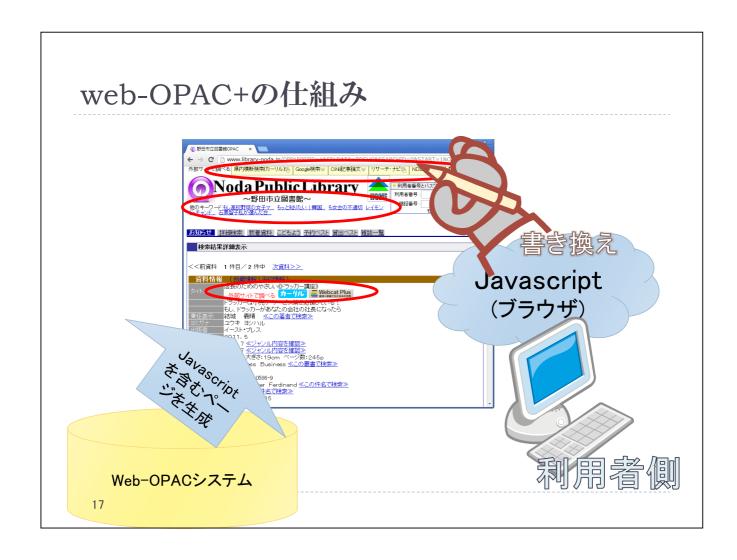


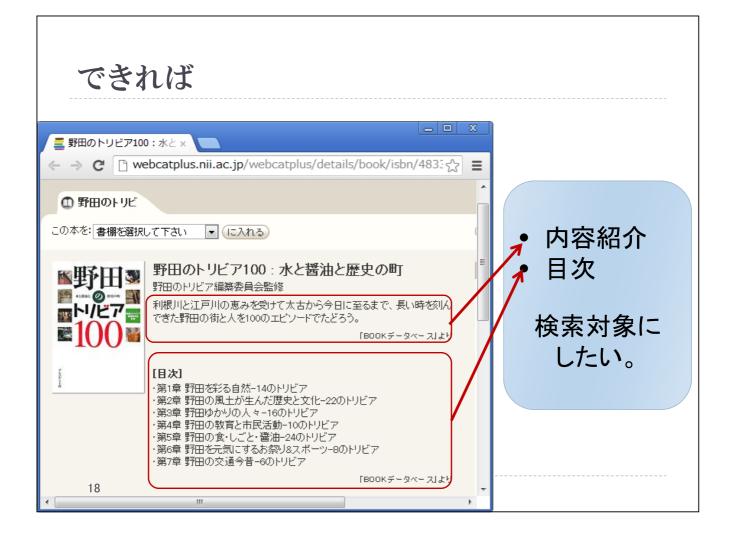
内容・目次情報などが分かる。

書誌情報が豊富

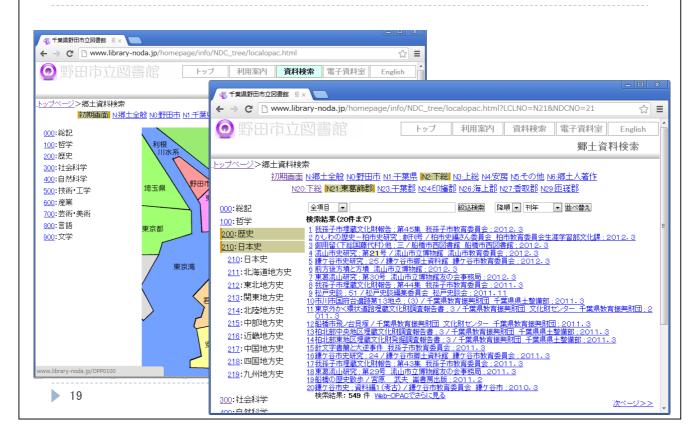
蔵書しか検索できない 対策:「web-OPAC+」





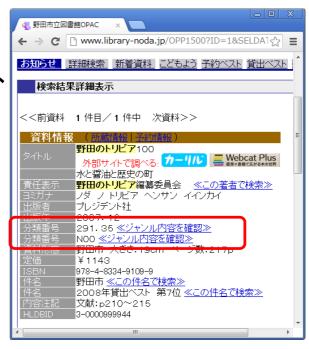


図書館にどういう蔵書があるか分からない対策:検索ツールの提供 「地域資料検索」等



地域資料検索

- 郷土史研究家の方々から、 「何があるかわからないので、 一覧できるようにしてほしい」 と言われたのがきっかけ。
- NDCのほかに独自にNから始まる地域番号を入力して、一覧検索可能に。



なんとなく訪れたくなるサイト

- ▶ 用事がなくても、「ちょっとサイトを見てみよう」という感じにする。
- サイトを見ることが、来館のきっかけになるようにする。
- ▶ そうすると、お知らせや臨時休館なども伝わりやすくなる。

出来るだけ、更新頻度を上げて変化をつける。 「訪れる度に紹介する資料が変わってる」が理想。 でも、自力でやるのは大変。

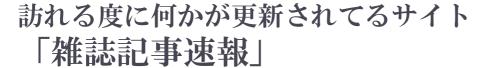
> 外部サービスやプログラム を活用して、更新を自動化する

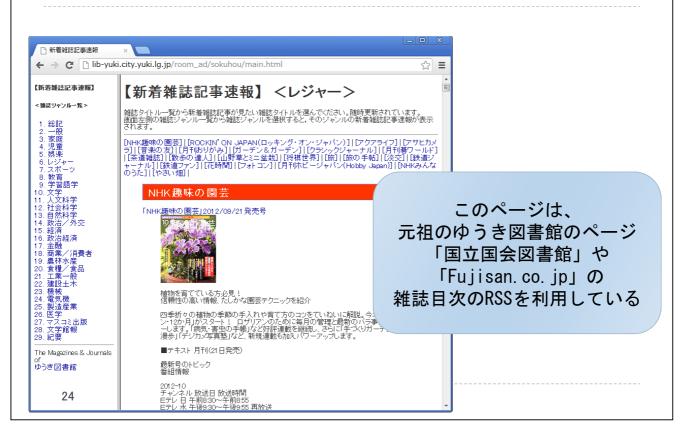
21

訪れる度に何かが更新されてるサイト 「在架なう!」

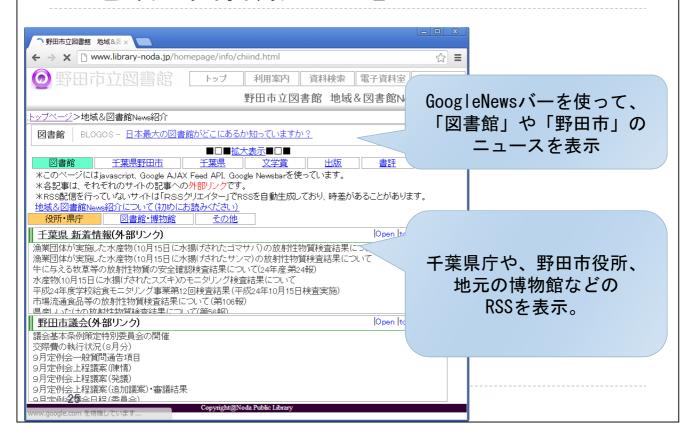








訪れる度に何かが更新されてるサイト 「地域&図書館News」



野田市立図書館のDIYの方法

- ▶ JavaScriptの活用 web-OPAC+、その他で使用。
- ▶ 公開されている外部Webサービス・RSSの活用 「カーリルレシピ」や「Cinii論文記事検索API」
- ▶ SQLやAccessによる出力データの活用 「ISBN未入力分目録」や「サジェストリスト」

JavaScriptや外部Webサービスの活用

敷居が高い、と感じるかもしれないけれど、 実は意外に多くの図書館サイトで普通に使われている



画面のナビゲーション

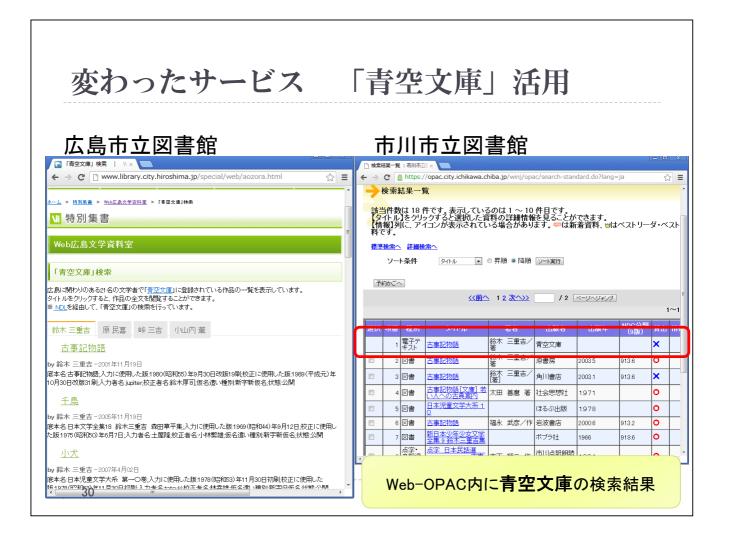
27

28

変わったサービス 「天気予報」の提供







必ずしも自分でやる必要はない

- 野田市の「千葉県立図書館検索」
- ▶ 板柳町民図書館の「GoogleBookAPI」
- ▶市川市立図書館の「青空文庫検索」
 は、(たぶん)システム業者に組んでもらっている。

31

野田市立図書館の 「千葉県立図書館検索」の場合

こんな流れ

- 1. 成田市立図書館で始めたと聞きつける
- 2. 「成田市の真似したい」とシステム業者さんに要望する。
- 3. お金ないんで、大きなシステム改修なしの方法をシステム業者さんと考える。

プログラミングを書けるより、 いろんなサービスや仕組み 知ってることが大事

まとめ

多くの利用者はGoogleやAmazonといったサービスを体験していて、それと図書館のWebサービスを比べている。

- ▶ お仕着せのWeb-OPACのみで、利用者の納得する図書館のWebサービスを構築するのは難しい。
- ▶ Webサービスをしているのはシステム業者でなく図書館。 (「業者が○○というので出来ません」は、利用者からするとやはりおかしい)

Web-OPAC ≠ Webサービス
Web-OPACその他を使って、どんなWebサービスをするかは、
図書館が考えていく。